

池田市地域防災計画 令和元年度修正の概要

現行

池田市地域防災計画

平成三十年
年度修正

【国の防災基本計画等の修正】

- 視点① 平成30年7月豪雨を踏まえた水害・土砂災害からの避難対策
- ▶ 「自らの命は自らが守る」意識の徹底、地域の災害リスクととるべき避難行動の周知
 - ▶ 住民の避難行動等を支援する防災情報の提供(5段階の警戒レベル)
- 視点② 南海トラフ地震対策推進計画の修正
- ▶ 「南海トラフ地震臨時情報」発表時の対応
- 視点③ その他の防災政策の見直し・充実
- ▶ ICTの活用 ▶ 防災・気象情報の多言語化 ▶ 事業継続力強化支援計画
 - ▶ ボランティア等の活動環境の整備 ▶ 罹災証明発行体制の整備・充実

【防災業務計画の修正】

反映事項なし

【大阪府地域防災計画等の修正】

- 視点④ 「災害モード宣言」の運用開始
- ▶ 広域的な大規模災害が発生もしくは迫っていることを知らせ学校や仕事などの日常生活の状態(モード)から、災害時の状態(モード)への意識の切り替えを呼びかける。
- 視点⑤ 大阪府災害派遣福祉チーム(大阪DWAT)の設置
- ▶ 一般避難所で災害時要配慮者(高齢者や障がい者、子ども等)に対する福祉支援を行う福祉専門職の設置

【市の防災環境の変化等】

- 視点⑥ 市の防災対策の推進
- ▶ 池田市風水害タイムラインの整備 ▶ マイタイムラインの整備 ▶ 防災備蓄倉庫の整備
- 視点⑦ 市の防災環境の変化
- ▶ 指定緊急避難場所の適否検討
 - ▶ 機構改革等(令和2年4月1日付け機構改革を含む。)
- 視点⑧ 府の参考意見、チェックシートでの事前協議結果の反映
- ▶ 助言・勧告(法46-6)なし、令和元年度修正に係る事前協議の意見なし
- 視点⑨ 計画の実効性を高めるための修正(経年変化の修正、表現・項目整理の見直し等)

令和元年度修正

【本編】

第1編「総則」

- ▶ 機構改革に伴う組織名称、所管業務の再整理
- ▶ ICT活用の明記
- ▶ 項目整理、表現の見直し・整合

第2編「災害予防計画」

- ▶ 5段階の警戒レベル運用開始に伴う修正
- ▶ 防災意識の高揚に係る国の改正趣旨反映
- ▶ 事業継続力強化支援計画に係る記述追加
- ▶ 罹災証明の発行体制の整備を追記
- ▶ 大阪府災害派遣福祉チームに係る記述追加
- ▶ ボランティア活動環境の整備への国の改正趣旨反映
- ▶ 国等による外国人に対する多言語化環境の整備
- ▶ 池田市防災備蓄倉庫の運用体制整備を加筆
- ▶ マイタイムラインを活用した啓発を記載
- ▶ 項目整理、表現の見直し・整合

第3編「自然災害応急対策」

- ▶ 5段階の警戒レベル運用開始に伴う修正
- ▶ 府の「災害モード宣言」に係る記述を追記
- ▶ 「池田市風水害タイムライン」の活用を記載

第4編「事故等災害応急対策」

- ▶ 変更なし(軽微な修正を除く。)

第5編「災害復旧・復興対策」

- ▶ 罹災証明の交付に係る調査手法を追記

付編1

- ▶ 府計画との表現整合

付編2

- ▶ 「南海トラフ地震臨時情報」発表時の対応に修正

【関係資料】 ※ 年度末までに修正

- ▶ 指定緊急避難場所一覧表の修正
- ▶ 5段階の警戒レベルを踏まえた避難様式の修正
- ▶ 防災行政無線同報系の記載
- ▶ 気象警報発表基準を最新の基準に更新
- ▶ その他、機構改革、経年変化等の修正